

一般選抜 小論文 出題の意図とねらい

1 出題の意図

社会課題として山岳遭難救助について取り上げた。山岳遭難件数はコロナ禍にいったん減少したものの、毎年のように過去最多の遭難者数を記録する状態である。公的な救助に費用負担を求めるかどうかについては、救急車の有料化問題の議論と似ているが、山岳遭難は遭難者が自らの意志で登山をしていることを踏まえると、自己責任論の問題についても検討しなければならない。

本出題では、山岳遭難に関する非連続テキストに加え、戸谷洋志の自己責任論を取り上げ、その読解を踏まえて、山岳遭難公的救助の有料化について意見を述べる出題とした。

2 各問いのねらい

問1 論理的な文章を読み取り、的確に情報を取り出し適切に表現する能力を問う。

問2 グラフと表を読み取り、的確に情報を取り出し適切に表現する能力を問う。

問3 文章と図表を比較しながら、社会課題に対して自らの考えをまとめて表現する能力を問うとともに、さまざまな立場、多様な境遇にある人々のことを想像し、自身と異なる意見についての配慮もしながら、社会的な合意に向けて最適解を提案する能力を問う。